

第10回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 平成30年10月18日(木)
開会 13時30分
閉会 14時15分

2 会 場 金沢市庁舎 2階 201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	早 川 芳 子
〃	岡 能 久
〃	河 野 俊 寛
〃	大 島 淳 光
〃	丸 山 章 子

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 田 邊 俊 治

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	高 村 政 博
	担当部長(兼)教育総務課長	加 藤 弘 行
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	中 西 賢 治
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	新 村 裕 二
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	村 田 昌 人
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	鳥 倉 俊 雄
	生涯学習課長(兼)家庭教育振興室長	藤 木 由 里
	図書館総務課長	村 田 英 彦
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	教育プラザ総括施設長(兼)地域教育センター所長	松 本 季 之
	研修相談センター所長	熊 谷 有 紀 子
	研修相談センター指導主事	村 本 和 代

5 案 件

議案第24号 2019年度 金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針(案)について (学校指導課)

非 議案第25号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会への諮問について (教育総務課)

報告第28号 プログラミング教育の実施について (学校指導課)

報告第29号 第13回ジュニアかなざわ検定実施報告について (生涯学習課)

そ の 他

(1) 金沢市図書館の図書等特別整理期間について

(2) 平成30年度海外教育派遣研修の報告について

(3) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者3名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に河野委員を指名した。本日の議題について野口教育長が議案第25号を非公開にするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第24号、報告第28号、報告第29号、その他(1)(2)について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、11月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第25号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 11月の定例会議の日程：平成30年11月28日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第24号 2019年度 金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針(案)について(学校指導課)

(説明の概要) 議案書2～3ページの概要版と、別冊資料をご覧いただきたい。基本方針は、「金沢型学校教育モデル」を構成する三つの要素のうち、「金沢型学習プログラム」に基づく教育課程を実践するに当たり、「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」「Ⅱ 教育課程実施の基本的な考え方」「Ⅲ 教育課程編成・実施の留意事項」「Ⅳ 新学習指導要領移行期間における留意事項」について定めたものである。各学校は本基本方針に基づき、より良い学校教育を通じて、より良い社会をつくるという目標を学校と社会とが共有し、子どもたちが自分の人生を切り開いていくために求められる資質・能力を明確にしながら、地域・家庭との連携、協働により、その実現を図っていく「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、「カリキュラム・マネジメント」を促進し、教育課程を編成・実施することとなる。

「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」では、5点を示している。「1 金沢ベーシックカリキュラムに基づく特色ある教育課程の編成」では、(1)は学力調査、新体力テスト等の結果や金沢および地域の資産を生かした、特色ある教育課程の編成について。(2)は小中一貫を視点とした、重点的に指導する学習内容等を位置付けた教育課程の編成について。(3)は「特別の教科 道徳」を含む道徳教育。(4)は人権教育。(5)は今年度中に改訂予定の健康教育推進プラン2019に基づく健康教育の指導計画作成と教育課程の位置付けについて記載している。特に、次年度より教科化される中学校の「道徳教育年間指導計画」について、新たに策定する「金沢ベーシックカリキュラム 特別の教科 道徳」を基準として作成することを明記した。「2 金沢ふるさと学習の推進」から「5 信頼される学校づくりに向けた教育課程の編成」までについては、昨年度と大きな変更点はない。

「Ⅱ 教育課程実施の基本的な考え方」については、4点を示している。特に「2 各学校における特色ある教育課程の実施」は、定着が不十分な学習内容等についてまとめや習熟の時間を設けるなど、児童生徒の実態を踏まえた教育課程の見直しを図ることについて記載している。

「Ⅲ 教育課程編成・実施の留意事項」については、各学校において教育課程や指導計画を作成する際、盛り込むべき内容や留意すべき事項などを具体的に示している。昨年度より変更のあった点として、「5 教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等」の(12)小学校プログラミング教育の先行実施について、新たに明記している。

「Ⅳ 新学習指導要領移行期間における留意事項」については、2020年度より新学習指導要領

が完全実施となり、小学校の英語科、あるいは総合的な学習の時間の授業時数が大きく変更となる。そこで、2020年度に向けて、各学校に見通しを持った教育課程の編成を促すため、授業時数がどの程度増加するのかを示している。具体的には小学校5・6年生の英語科の授業時数が年間70単位時間以上となり、2019年度よりも20単位時間以上増加することや、小学校3・4年生の総合的な学習の時間が70時間となり、同じく32単位時間増加することを示している。

この案をお認めいただければ、学校に通知し、各校の校長がこの基本方針に基づき、学校の実情に応じた特色ある教育課程を編成することになる。

早川委員

幾つか新しいことが導入され、それに対していい授業をしていただくのはもちろんです。ちょうど時期を同じくして、働き方改革が並行しています。先生方の負担が増えそうな懸念があります。例えば外部から専門家を呼んだり、先生人材バンクのようなどころからベテランに来ていただいたり、同時進行で対策を考えていらっしゃいますか。

新村学校指導課長

例えば英語の時数が増えるわけですが、本市の特徴としてインストラクターとTTを進めています。担任単独では非常に負担が大きいので、インストラクターとTTを進めることがどこまで可能なのかも含め、検討委員会で検討しているところです。また、プログラミング教育についても学級担任だけではなかなか難しいので、ICT支援員等がどれぐらい協力できるのかも含めて、次年度中に検討会で確認していきたいと思っています。

早川委員

さまざまな方向から解決策を同時に進行していただくと、うれしいです。

野口教育長

この部分は学校指導課と学校職員課がタッグを組んでやらなければならないことだと思いますので、よろしくお願いします。

○ 報告第28号 プログラミング教育の実施について（学校指導課）

（説明の概要）議案書7ページ。本市では2020年度からの小学校におけるプログラミング教育の実施に向け、昨年度は現場の校長先生や教員を委員としたワーキンググループを開き、プログラミング教育の基本的な考え方、実施に向けた意見について取りまとめた。本年度は第4次産業革命におけるICT人材の育成に向け、市長部局においてプログラミング活用人材育成検討会を設置し、その専門部会としてプログラミング教育検討会を設け、検討を重ねてきた。その結果、本市の小学校におけるプログラミング教育に関して一定の方向性が見えてきたことから、その基本的な考え方や具体的な内容等について報告したい。

1の「基本的な考え方」として、「学習指導要領」「小学校プログラミング教育の手引き」、経済局で今後策定される「金沢版ICT人材育成モデル」などに基づき、市立小学校の全児童がプログラミングを楽しみながら、理論的思考力・創造力・問題解決能力を育むことを目的としてプログラミング教育を実施していきたいと考えている。

2の「具体的な内容」については、資料にA～Dの区分が記載してあるが、これは文部科学省の「小学校プログラミング教育の手引き」に示されているものである。Aの区分は学習指導要領に明示されている単元等で実施するもの。Bの区分は学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの。Cの区分は各学校の裁量の中で実施するもの。Dの区分はクラブ活動など特定の児童を対象として教育課程内で実施するものである。これらについては次年度、教科書の採択替えがあるので、新しく採択した教科書に合わせて実施することになると考えている。

これに加えて、**金**という区分があるが、金沢市の特色ある学習内容として全小学校で実施するものと考えている。この内容を説明する。小学校1・2年生においては、余剰の時数を活用し、主に手指を用いて、楽しみながら感覚的にロボットを操作する学習を考えている。3・4年生におい

ては、総合的な学習の時間に、暮らしや社会に役立つ情報に関して探究的に学習するカリキュラムを策定し、小型マイコンボードにプログラムを行い、ロボット等を動かす学習を考えている。6年生では、総合的な学習の時間の中で行っている「金沢ふるさと学習」において、金沢の魅力についてコンピュータ等を活用し、文字、音声、アニメーション等で紹介するプログラミングの実施を考えている。

今後の予定としては、教育委員会は12月までにベーシックカリキュラム概要版を策定する。そして、モデル校での試行授業実施に向けて教材の整備を進めているところである。また、1月までにベーシックカリキュラム詳細版を策定し、プログラミング教育検討会にて検討するほか、モデル校における試行授業を行う予定である。

丸山委員	プログラミング教育を進めていくに当たって、コンピュータを増やさなければならないなど、必要な機材はどれぐらいありますか。
新村学校指導課長	1月からモデル校で試行授業を行っていく予定であり、そのために予算取りをしたものについては、ロボットをグループで1台ぐらい使えるようにし、加えてタブレット型のパソコンも考えています。モデル校で実践して、必要な部分について予算取りしていきたいと考えています。
丸山委員	ロボットがイメージできないのですが、金沢駅にあるようなロボットですか。
新村学校指導課長	小型のものをイメージしていて、この夏のサマースクールでモデル校でやってみたのですが、小さなネズミが動くようなロボットを考えています。
野口教育長	子どもたちは結構楽しんで活動していたかと思います。23日の総合教育会議でもう少し突っ込んだ話ができればと思っています。

○ 報告第29号 第13回ジュニアかなざわ検定実施報告について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書9ページ。検定日は8月22日（水）で、対象者は小学4年生から中学生までと保護者の希望者になっている。検定は小学生版と中学生版に分かれて実施し、団体受検は小学校54校1分校、中学校16校、個人受検は2会場の計73会場で行った。昨年より小学校の団体受検校が1校増加した。また、個人受検会場を3年ぶりに2カ所に増やし、受検者の利便性を向上させた。申込者数は全体で6,987名だが、そのうち受検者数は6,420名で、昨年より330名減少したが、受検率は91.9%で、昨年度より0.5%上昇した。

100点満点の方をジュニアかなざわ博士に認定しており、今年は小学生から1名が誕生した。小学生からは6年連続博士が出たが、中学生は残念ながら今年も該当者がいなかった。平均点は小学生が48.5点、中学生が45.6点で、70点以上の成績上位者にはカードを進呈しており、カード取得率は小学生が12.9%、中学生が5.8%となっている。カード取得者の内訳は表のとおりである。

成績優秀者の表彰式は、11月26日（月）に市役所本庁舎の第1委員会室で行うことにしており、小学生版では四十万小学校6年の菟谷悠叶さんがジュニアかなざわ博士として受賞する。中学生版では森本中学校1年の中村結芽さんが最優秀賞となり、二人とも市長から表彰される予定である。また、団体受検で最優秀受検校となった学校の表彰では、小学生版は泉小学校、中学生版は芝原中学校がそれぞれ受賞し、個人賞に併せ表彰を行う。

今回は受検者の一部の方にアンケートを実施し、受検後の金沢への気持ちの変化や今後の受検への意欲などを調査した。その結果、78%が「より金沢を好きになった」と回答しており、90%以上が「来年も挑戦したい」と答えている。この結果を生かし、今後もより多くの子どもたちが意欲を持って、楽しんで金沢のことを守れるよう取り組んでいきたいと思う。

早川委員	保護者は子供たちと同じ教室で受けるのですか。
藤木生涯学習課長	保護者はお子さんと一緒に勉強されて腕試しをしたいということで、10名の方が受検されました。会場によってケースバイケースなのですが、基本的には同じ会場です。
早川委員	親子やきょうだいで検定を受けるのはいいことですね。
岡委員	もっと受検者を増やせないのですか。
藤木生涯学習課長	通常、夏休みのお盆が明けた水曜日に実施しており、これに合わせて学校でいろいろな行事をするなど、登校を促すような心掛けをしていただいています。
野口教育長	今後エアコンが設置されますので、環境が整った中で、頭を落ち着かせてどんどん挑戦していただけるとうれしいです。

○ その他 (1) 金沢市図書館の図書等特別整理期間について

(説明の概要) 議案書 10 ページ。金沢市図書館規則第 3 条の規定により、資料の特別整理のため、下記の期間を休館とする。休館期間は 11 月 26 日 (月) ~ 12 月 7 日 (金) の 12 日間となっている。休館中は、蔵書点検、資料整理、書架や書庫の整理、職員研修、消防訓練や防犯訓練などを実施する予定となっている。4 図書館、2 分館、近世史料館、全ての図書館で実施する。

(特になし)

○ その他 (2) 平成 30 年度海外教育派遣研修の報告について

(説明の概要) 議案書 11 ページ。今回の研修の目的は、友好交流都市の大連市を訪問し、プログラミング教育や ICT を活用した教育の視察、意見交流を通して友好を深めるとともに、国際感覚を磨き、実践的指導力とグローバル化に対応した素養を高めることにある。

研修は 10 月 6~10 日に行い、訪問先等は 2 の表にあるとおりである。派遣団は高村教育次長を団長とし、市立小中学校教員および指導主事の計 6 名である。

今回の研修を通じて、主に次の三つの視点で成果を得ることができた。一つ目に、交流を通して相互理解と友好を深めることができた。小中学校の教員との意見交流では、児童生徒の意欲を高めることや、知識だけでなく素養を高めることを大切に考えていることを聞き、国が違っても教員の思いが共通していることを知った。明成小学校の友好交流校である実験小学校とは校長先生との懇談、城南中学校の友好交流校である中山実験学校の先生とは教育学院での意見交流会で親しく話をする機会があった。児童生徒の作品を贈り、これまでの交流の歴史を振り返って友好を深めることができた。また、今年度は新しく大連東軟信息学院を訪問した。学内を視察した後、互いの国の印象や大学生の生活などについて、学生と率直な意見交流を行うことができた。

二つ目に、大連市におけるプログラミング教育や ICT 等の学校環境について知ることができた。大連市では 2 年前からプログラミング教育が始まっている。小学校では週 2 時間の情報の授業の中で、1~4 年生はエクセルやワードなどの基本操作、5・6 年生は Scratch という簡単なプログラミングを学んでいるということだった。今後は Scratch を使ってロボット作りの授業を計画中という。また、参観した英語の授業では、電子黒板やタッチペン、タブレットなどの ICT 機器を効果的に活用していた。児童がタブレットで設問に答えた後、教師がその正答率をすぐにグラフで示し、児童の実態に合わせて解説を行っている場面や、児童がグループ内で発表している様子を教師がスマートフォンで撮影し、直後にその映像を大型画面で全体に紹介している場面など、巧

みに ICT を活用する指導技術を見ることができ、指導力向上につながるヒントを得ることができた。その他、興味深い点としては、小学校で孔子の教えなどを一斉に朗読する時間があった。中学校ではグラウンドで全校生徒が体操をする時間や、給食後には昼寝の時間もあった。人間性を育てることや健康づくり、学習効果を高めることにもつながる取り組みだと感じた。また、日本と同じように児童生徒のさまざまな作品を多く掲示した環境づくりや、児童生徒の興味に合わせたサッカーやダンス、オーケストラなどの放課後の活動、授業研究のための教科部会や教員同士の授業参観も行っていることが分かった。

三つ目に、参加した教職員自身が国際感覚を磨くことができた。参観した英語の授業では、中国人が発明したものをたくさん紹介し、自国に誇りを持たせながら、次の時間には他国の人が発明したものを紹介する流れになっていた。まず自国の伝統や文化をよく知ること、そして他国のことを知って受け入れることが国際理解につながるのではないかと感じた。大学生との交流では、日本のアニメがきっかけで日本語を専攻する学生が多いこと、歴史をしっかりと学んだ上で両国の懸け橋となり、より良い関係を築こうとしている学生が多いことを感じた。一生懸命語ってくれる学生の姿から、積極的に相手を知り、コミュニケーションを図ろうとすることがより良い国際関係づくりにつながることを実感した。そのような姿勢を持ち、国際感覚を磨くことがグローバル化に対応した人材を育成することにつながると思う。

今後は校長会議や初任者研修等で報告を行う予定である。自分たち研修団員が大連市でじかに経験し感じてきた研修の成果を、さまざまな機会を利用して他の教職員や子どもたちにしっかりと伝えたいと思う。

早川委員	タブレットは子ども1人につき1台持っているのでしょうか。
村本研修相談センター指導主事	参観した小学校では、児童が家から各自持ってきており、電話がつかないようきちんと設定されているということでした。
早川委員	本当に近い未来に生徒全員がタブレットを持っていて、活用できるようになるといいですね。重い教科書を毎日持ってこなくてもタブレットで授業ができたり、体育の授業で自分のパフォーマンスの映像を撮ったり、英語の教科書にかざして音声を自分で取り込んだり、さまざまなことができると思います。ただ、お金がかかるので、1人に1台のタブレット所有は、難しいでしょうね。目黒区では1人1台近いとうかがいました。残念ながら日本全国でとなるとまだまだ難しいと思います。産官学が協力して使わせてもらうようなことができないかなといつも思っています。
野口教育長	国としても一定の予算を付けて、タブレットが増えていくように取り組んでいるので、今後さらに増えていくだろうと思っています。
早川委員	期待しています。
丸山委員	孔子の教えというのは、子ども用の『論語』などを読むのですか。
村本研修相談センター指導主事	私が見たのは、孔子の大切な教えとして、漢字が3文字並んでいるようなものがあって、それを朗読していました。
丸山委員	中国や韓国は孔子などの教育が根強く残っているのか、そういう部分を大切にしているのはすごくいいと思いました。 それから、昼寝の時間があることは、日本ではなかなか考えにくいと思うのですが、何分ぐらい寝させるのでしょうか。それが午後の授業にプラスになるのであれば、それもいいことなのではないかと思いました。

村本研修相談センター指導主事

給食の後に 30 分、昼寝の時間を取っていました。午後の授業が効率的になるように昼寝をしているということでした。

早川委員

せっかくの派遣研修をたくさんの人に見ていただきたいです。ビジュアルなもので説明すると、例えば昼寝はどのようにしているのか、わかりやすく見せることができます。せっかくの成果ですので、一人でも多くの先生方に活用して、ただ「行ってきました」だけではなく、次のステップにつながるように祈っています。

高村教育次長

私は今回、団長として行ってきました。委員がおっしゃるとおり、百聞は一見に如かずということで、昼寝があると学校からと言われて、イメージが湧かなかったのですが、「瞑想の時間」という表現もあって、机の上にクッションを置いてのもので、語りがあって、われわれも眠気を誘われるような部分がありました。結局それは健康面と、午後の授業を効果的に高める意味で行っており、なかなか興味深いと思いました。今回せっかく各教員が経験したことを、今後、なるべく言葉だけではなく、映像など目で見えて理解していただく形で、少しでも多くの先生方に伝えたいと思います。

早川委員

期待しています。

野口教育長

録音や録画等がたくさんされていると思いますので、ぜひ効果的に使っていただきたいと思います。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(河野委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 25 号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会への諮問について（教育総務課）

審議結果についても非公開

以 上